開発手順概要

最短期間	No.	手順	内容
	1	価格帯決定	販売価格が5万円なのか50万円なのかというレベルの価格帯決定 商品コンセプトを明確にしておいて下さい。
	2	容量・外形寸法概略決定	電解容量＝タンクの大きさ、縦横比など大きさの概略を決めます。
	3	電解方式決定	どういう電解方式を採用するのかを、容量・価格帯などから決定。
	4	排水処理方式決定	使わない水の処理方法を決めます。
	5	構造決定	大体の部品配置、位置関係、使用樹脂などを決めます。
	6	電解仕様決定	実際に組み込む電解槽内の配置を決めます。
1ヶ月	7	電解実験により細部決定	実験を行い決定した仕様での最適なセッティングを決めます。
	8	電源選定	電解容量・方式・納入国の電源により内蔵する電源を決めます。
	9	ﾕｰｻﾞｰｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ決定	表示パネル、スイッチの数、配置を決めます。
	10	製造ロット、販売数を基に 製造方法・部材手配方法等決定	実際に作る数により、専用部品、市販部品の使用割合 実部材の手配方法、時期、支払方法、工場との連携方法を決定。
	11	構造設計開始	決定事項を基に、11～15まで同時進行で設計及びデザイン、名称などを順次作成。
	12	電解槽設計開始	
	13	回路設計開始	
1.5ヶ月	14	外観デザイン開始	
	15	名称およびロゴ決定	
	16	構造設計完了	
1ヶ月	17	電解槽設計完了	
	18	デザイン決定	
	19	モックアップ作成	設計内容に従い、外形模型を作成します。
	20	パンフレット作成開始	モックアップを使用し写真撮影などを行いパンフレット作成を開始します。
	21	回路設計完了	
	22	基板設計開始	回路を基板にするための設計を開始します。
1ヶ月	23	樹脂型設計開始	構造設計から樹脂型の設計に入ります。
	24	部材発注	パイロット作成用の部材及び量産のために部材の押さえを行います。
	25	基板作成	パイロット用の基板を作成します。
	26	樹脂型作成	パイロット用の樹脂打ちを行います。
	27	ﾊﾟｲﾛｯﾄ作成	組立工場に部材を納めﾊﾟｲﾛｯﾄ組立を行います。
1ヶ月	28	ﾊﾟｲﾛｯﾄによる各種試験開始	動作試験、耐久試験などを行い、設計通りに出来上がってるかチェックします。
	29	不具合点修正	格製造部門、製造会社にフィードバックし修正を行います。 ※試験期間は、十分に取ってください。
	30	取扱説明書作成	取扱説明書、製品保証書の作成を行います。
	31	梱包箱設計・作成	出荷するための梱包箱、製品個別の個装箱を設計製作します。
0.5～1ヶ月	32	出荷後のメンテナンス体制	メンテナンス体制は決定しておいて下さい。
	33	量産計画決定	販売先との契約に基づき量産の計画を立てます。
	34	品質管理体制決定	製品製造時の製品チェック機構を作ります。
	35	量産開始	量産を開始します。
	36	第一回ロット分出荷	初荷出荷